

第11回

ベビーカーの転倒による乳幼児の事故に注意

事故事例

駐車場のスロープを降りていたところ、ハンドルに掛けていた荷物に引っ張られるようにベビーカーが手前に倒れた。子どもはシートベルトを装着しておらず、頭から地面に転落した。外傷性くも膜下出血により7日間入院した。
(1カ月、男児)医療機関ネットワーク^{*1}

医療機関ネットワーク^{*1}や全国の消費生活センターには、ベビーカーごと転倒したり、乳幼児が転落してけがをした事例が多く寄せられており、商品に問題がないか調べてほしいという相談もみられます。そこで使用実態をアンケート調査^{*2}し、販売数が多いと考えられるベビーカー7銘柄について事故要因もテストしました。

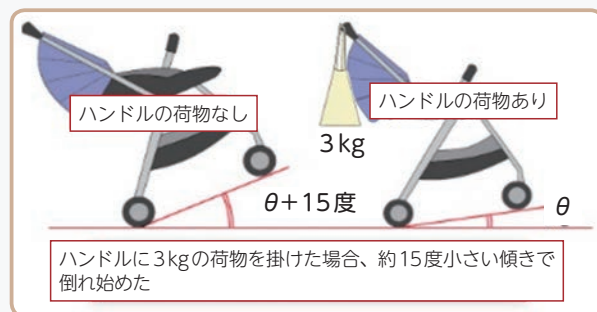
問題点とアドバイス

(1) ハンドルに荷物を掛けると転倒しやすい

アンケートの結果、7割以上の方がハンドルに荷揚げフックを付けて、荷物を掛けていました。また、3割の方がベビーカーごと転倒あるいは子どもの転落を経験し、その原因の7割がハンドルに掛けた荷物でした。

テストした全銘柄にはハンドルに荷物を掛けないよう警告表示がありました。テストではハンドルに荷物を掛けると転倒しやすくなり、特に、子どもが小さく体重が軽い場合や、上り坂・段差・障害物の上を通行する際に前輪の持ち上げなどで転倒しやすくなることが分かりました。

図 ベビーカーが倒れ始める角度の違い



(2) シートベルトをしましょう

アンケートの結果、子どもに毎回シートベルトを装着させる人は7割未満でした。テストの結果、シートベルトをしていないと、ベビーカーが転倒したときに乳児ダミー人形が投げ出されることがありました(写真)。

写真 ベビーカーを転倒させたようす(シートベルト未装着の場合)



事故の未然防止や被害を小さくするため、必ずシートベルトをしましょう。

*このベビーカーは実際の事故事例とは無関係です。

*1 消費生活において生命または身体に被害が生じた事故にあい、参画医療機関を受診したことによる事故情報を収集する消費者庁と国民生活センターとの共同事業。2010年12月運用開始。

*2 子どもがいてベビーカーを所有して使用しており、そのベビーカーを最も使用する子どもの年齢が4歳未満である男女1,000名にアンケート調査を実施した。

参考：国民生活センター「ベビーカーの転倒による乳幼児の事故に注意ーベビーカーから転落し、頭部にけがを負い入院する事例も!ー」(2019年12月12日公表) http://www.kokusen.go.jp/news/data/n-20191212_1.html